

見守り 新鮮情報

毛染めによる アレルギーに注意 アナフィラキシー が起きることも



©Kurosaki Gen

旅行当日、自分で**毛染め**をした。その後車で空港に向かい、到着したらだんだん**意識がもうろう**としてきた。空港の診療所で診てもらったところ「**アナフィラキシーショック**を起こしている」と言われ、**救急車**で近隣の**病院**に行き、抗アレルギー注射を打って事なきを得た。しかし、旅行には行けなかったし、まだ体調がすぐれない。染める前に**パッチテスト**は**していない**。
(60歳代)

ひとこと助言

パッチテストを
しよう



見守るくん

- ヘアカラーリング剤の中でも酸化染毛剤（ヘアカラー、ヘアダイ、白髪染め、おしゃれ染めなどと呼ばれる）は、アレルギー性接触皮膚炎を起こしやすい傾向があります。また、様々な症状が現れる急性のアレルギーであるアナフィラキシーが起こることがあります。
- これまでに異常を感じたことがなくても、継続的に毛染めをするうちにアレルギーになることがあります。酸化染毛剤を使用する際は、必ず毎回パッチテストをしましょう。美容院などで行う際も注意が必要です。
- 酸化染毛剤により一度でも、かゆみ、赤み、痛みなどの異常があった人は、以後の使用は絶対にやめてください。パッチテストもしないでください。一度目のアレルギー症状が軽くても、使用し続けるとしだいに症状が重くなる場合があります。
- 異常を感じた場合は、使用を止めて、医療機関を受診しましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第503号（2025年1月30日）発行：独立行政法人国民生活センター

福岡市消費生活センター相談コーナー TEL：092-781-0999

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ7階

月曜日～金曜日 9時～17時 ※来所による相談は予約制です

土曜日 10時～16時（電話相談のみ）

祝休日、年末年始（12/29～1/3）はお休みします

インターネット消費生活相談

福岡市消費生活

検索

